

HIDWR

兵庫県感染症発生動向調査週報(速報) 平成 23 年第 32 週 (8 月 8 日~8 月 14 日)

兵庫県感染症情報センター (兵庫県立健康生活科学研究所:健康科学研究センター)

Hyogo Infectious Diseases Weekly Report

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-i.html>

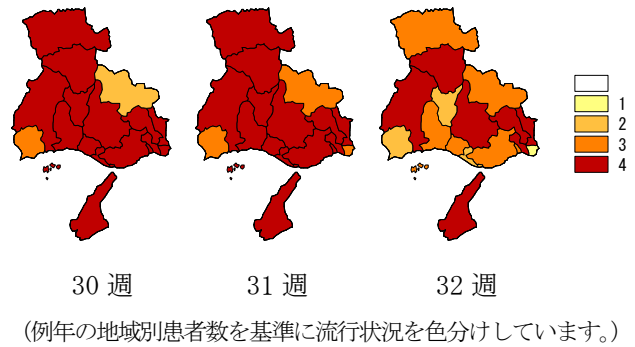
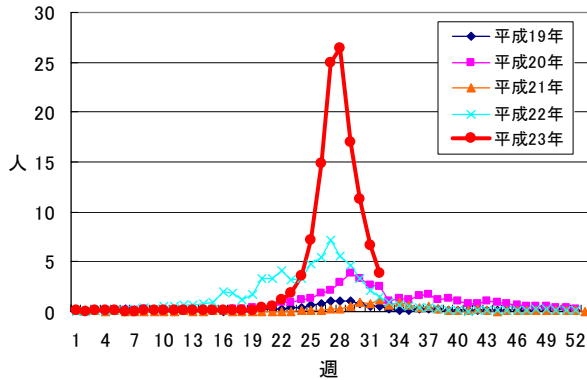
定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

手足口病

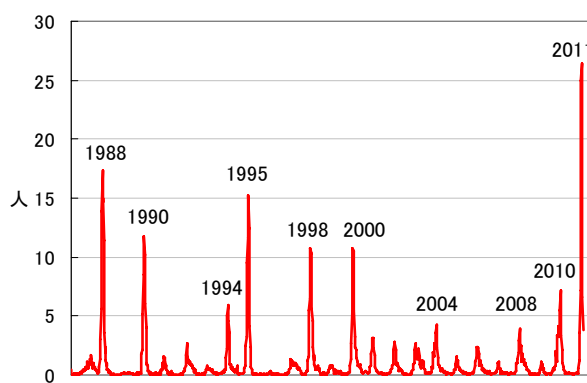
定点あたり患者数は今週 **3.80 人** (先週は 6.63 人) と 4 週連続して減少し、定点観測が始まってから最大規模となった流行も収束に向かっています。

地域的にみても、警報レベルである定点あたり患者数 5 人以上となっているのは伊丹、宝塚、加東、朝来、洲本の 5 保健所管内と減少しました。

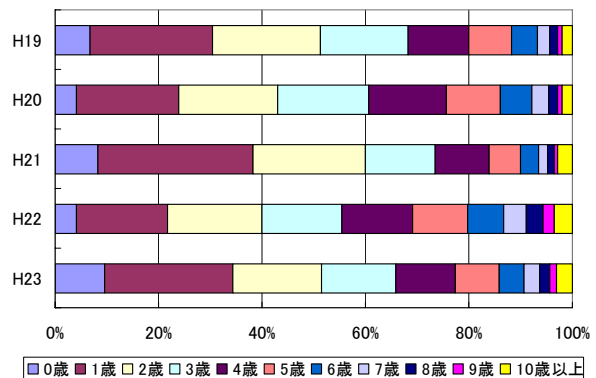
手足口病の定点あたり患者発生状況(県内)



手足口病の定点あたり患者数の推移(県内)



手足口病の年齢階級別患者発生割合



定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

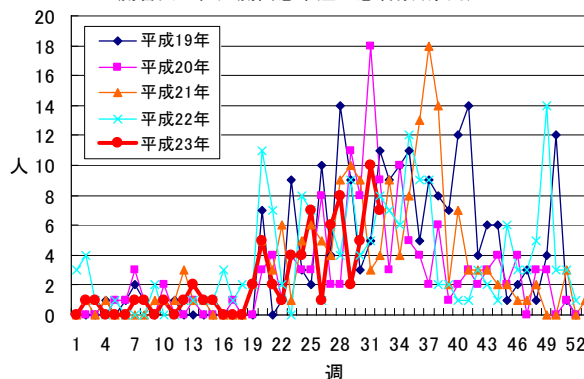
	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1 位	手足口病	3.80	6.63	-2.83	6 位	突発性発しん	0.57	0.64	-0.07
2 位	感染性胃腸炎	2.55	2.86	-0.31	7 位	流行性角結膜炎	0.53	0.69	-0.16
3 位	ヘルパンギーナ	1.13	2.07	-0.94	8 位	A 群溶血性レン球菌咽頭炎	0.47	0.53	-0.06
4 位	流行性耳下腺炎	0.81	0.98	-0.17	9 位	咽頭結膜熱	0.34	0.37	-0.03
5 位	水痘	0.58	0.56	+0.02		伝染性紅斑	0.34	0.45	-0.11

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

腸管出血性大腸菌感染症

今週は7人の報告がありました。夏場はこの感染症の流行の最盛期となっています。小児・高齢者等は溶血性尿毒症症候群（HUS）を発症して重症化することがあります。肉・レバーなどの食品はよく加熱し、生食は控える、箸を使い分けるなど、感染予防が大切です。

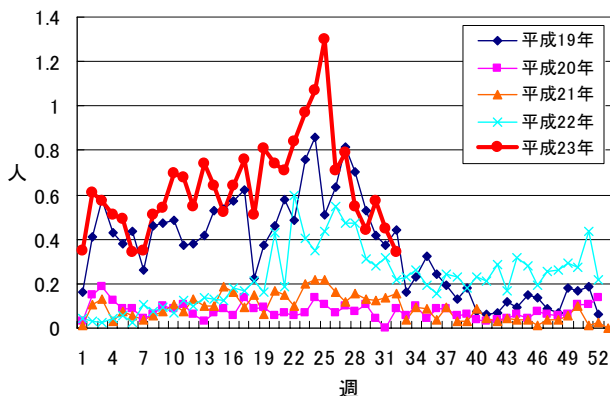
腸管出血性大腸菌感染症の患者数（県内）



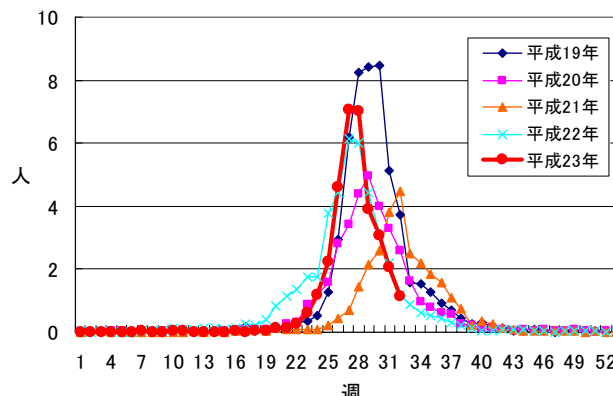
1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 13名 （尼崎市 5名、西宮市 2名、伊丹保健所管内 2名、宝塚保健所管内 1名、明石保健所管内 1名、加古川保健所管内 1名、龍野保健所管内 1名）
3類感染症	細菌性赤痢 1名 （神戸市；男性 40歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；接触感染）、 腸管出血性大腸菌感染症 7名 （有症者 7名、うち HUS 1名） （神戸市；O157 VT1+ VT2+ 男性 50歳代、O157 VT2+ HUS 女性 7歳、O157 VT2+ 男性 7歳、豊岡保健所管内；O157 VT1+ VT2+ 男性 80歳代、O157 VT1+ VT2+ 女性 80歳代、O157 VT1+ VT2+ 女性 70歳代、O157 VT1+ VT2+ 男性 80歳代）（累積報告数 77名；有症者 62名、うち HUS 2名）
4類感染症	報告はありません。
5類感染症	報告はありません。
追加報告	結核 5名 （姫路市 1名、西宮市 2名、加古川保健所管内 2名）

目で見える動向（県内）

伝染性紅斑の定点あたり患者発生状況（県内）



ヘルパンギーナの定点あたり患者発生状況（県内）



この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。